

ダイキン工業の事業内容と株主還元が 3 分でわかる

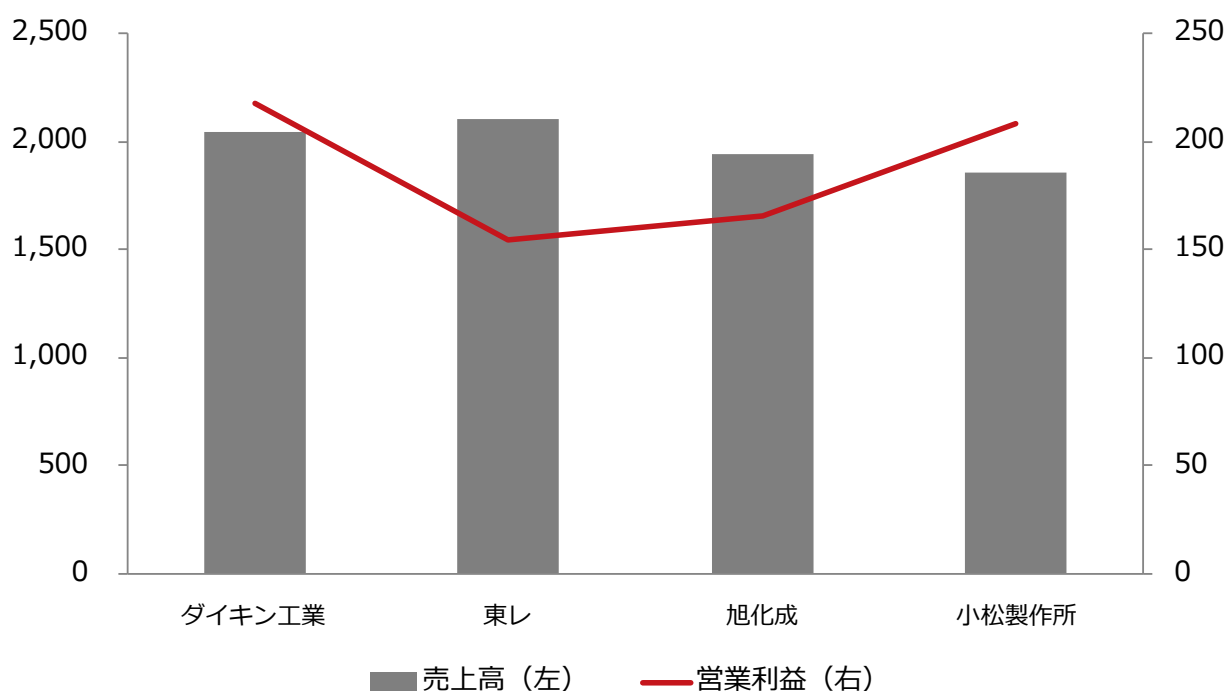
2016.09.07

Q1 ダイキンってどんな会社？ どれくらいの規模の会社なの？

ダイキンは、エアコンの製造・販売を中心に国内外で事業を展開しています。2015 年度の連結売上高は 2 兆 437 億円、営業利益は 2,178 億円、営業利益率は 10.7%で、3 期連続で最高売上高・利益を更新しました。海外売上高比率は 7 割を超え、6 万人を超える従業員の 8 割が海外で働いています。ちなみに売上規模は、他の日本の製造業でいえば、東レ、旭化成、コマツなどと並びます（図表 1 参照）。

主力の空調事業については、世界市場で見るとダイキンと米キャリア社が 2 大プレーヤーです。ダイキンは海外事業の展開に積極的で、中国での売上拡大や米国での大型買収、アジアでの市場開拓によって、海外売上高が直近 5 年間で約 2.2 倍にも拡大しました。また、もう 1 つの主力事業に世界シェア 2 位のフッ素化学があります。自動車・半導体・スマートフォンなど、幅広い産業分野で材料として使用されているほか、空調機の冷媒となるフッ素ガスの製造も行っています。ダイキンは、空調機と冷媒の両方を作っている世界で唯一の会社です。

図表1：売上高及び営業利益比較（十億円）



出所：会社資料をもとに作成

Q2 空調事業はまだ伸びるの？

ダイキンの売上高のうち空調事業が 9 割を占めます。日本では家、会社、車や電車、商業施設と空調のない所はほとんどありません。一方、世界全体で見ると新興国など、まだ普及が進んでいない地域もあります。空調は健康で文化的な生活と経済発展に欠かせない社会インフラであり、今後も需要拡大が見込まれます。また、空調は使用時に多くの電力を消費しており、ビルのエネルギー消費量の約半分は空調で使用されているというデータもあります。人口増加や経済成長に伴い世界的にエネルギー需要の増加が見込まれる中、当社はインバータやヒートポンプ、冷媒制御といった世界トップレベルの省エネ環境技術を生かした商品・サービスの開発、普及によって、事業拡大とともに多くの社会課題の解決に貢献できると考えています。

Q3 どうしてそんなに業績を拡大できたの？

ダイキンは1924年に創業し、冷媒フロンや業務用パッケージエアコンを日本で初めて開発するなど、総合空調メーカーとして空調業界を牽引してきました。

今日、売上高2兆円を超える規模まで拡大した背景には、1990年代にグローバル展開へと舵をきったこと、また2007年以降に海外企業の大型買収により本格的にアメリカ市場参入の足がかりを築いたことがあげられます。

ダイキンはインバータ技術をはじめとする省エネ技術で業界をリードしていると自負しています。また、グローバル展開においては、現在140カ国以上に事業を展開しており、生産拠点は80カ所にのぼります。進出先の各国で独自の販売ネットワークを構築するとともに、各地域に生産拠点をおくことで、地域に密着した営業、顧客ニーズに合った商品の投入を可能にしてきました。この技術力と地道な努力が各国でお客様を獲得することにつながったと考えています。

Q4 ダイキン工業はどのような会社を目指すの？

2016年6月に2020年度を目標年度とした戦略経営計画『FUSION20』を発表し、2018年度には売上高2兆5,000億円、営業利益2,700億円を計画しており、さらに、2020年度には売上高3兆円規模をめざしています。

この数値目標を達成するため、空調を中心としたこれまでの主力事業を強化すると同時に、将来の収益の柱としてフィルタ、暖房・給湯、エネルギーソリューション事業を拡大し、空気・空間に関わる新しい事業分野にも挑戦していきます。世界をリードする空調のトップメーカーとして、これからも社会の期待に応え、貢献する企業であり続けます。

Q5 ダイキン工業の株主になるとどんな良いことがあるの？配当や株主優待制度、株主総会のお土産は？

株主の皆さまへの直接的な利益還元として配当を中心に考えており、2016年3月期の年間配当金は120円です。安定的かつ継続的に配当することを基本にしており、3年連続で増配しています(※)。空調を中心に、ダイキンが事業展開している業界は今後も市場拡大が見込まれます。将来の成長に向けた投資を積極的に行い、それを事業拡大につなげ、企業価値を向上することによって、ダイキンを応援して下さる株主の皆さまに報いていきたいと考えています。

現時点で株主優待は実施していませんが、株主総会にお越しいただいた方には、ダイキンエアコンのキャラクターとしてお馴染みの「びちゃんくん」グッズを差し上げています。

(※) 2013年3月期36円、2014年3月期50円、2015年3月期100円